

市の基幹産業である農業と観光を活性化させる施策を



市長 高宮今朝秀

市長 阿蘇には素晴らしい資源があり、阿蘇山は世界で唯一、地球誕生を体感できる場所と位置づけられています。トンネルを造ることで防災面や火山の学術研究にも活かしていきたいと思っています。予算の問題や規制等があるかと思いますが、実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

高宮 市の基幹産業である農業と観光をより活性化する方法として、異業種間交流事業を先の議会提議していたが、その後の経過は、**吉良商工観光課長** 地元の生産関係者にお集まりいただき、現状と課題について継続的に話し合いをしており、基本的な流れを掴むことができました。だご汁街道、ハヤシライスの店、赤牛認定店、阿蘇の米と大豆を使った味噌の商品化がされています。宿泊施設関係者と生産者が互いに同じテーブルにつけるよう努力してまいります。

火口周辺の開発構想について

高宮 火山ガス等防災対策を考慮した、地下トンネルによる屋内展望施設を計画されたことは、観光経済浮揚策として喜ばしいことである。次の段階として、より高度な防災面を考慮した「火口観測用トンネル」や「地底博物館」構想はないのか。



山上ロープウェイ

喫煙所について



市長 野田好一

野田 市役所内で、階段の下で煙草を吸っている職員を目にすると、だらしのない感じを受ける。職員の多くは一生懸命事務に専念していると思うので、出来れば喫煙場所に囲いを設けて、一般市民から見えない工夫を取ってもらいたい。

佐藤総務課長 平成15年に健康増進法が施行されましたので、庁舎内では喫煙を禁止し、屋外の3箇所に喫煙場所を設置しました。今後、検討致します。

野田 職員の約何割が喫煙をしているのか。

総務課長 喫煙者は約3割程度と思います。喫煙の完全分離と併せて検討させていただきます。

通学定期券について

野田 乙姫の中学生は定期券（1ヶ月2390円）を買って阿蘇中学校に通学しているが、何故、通学距離が6km以内は自費で通学しなければならぬのか。

ばならないのか。

日田教育課長 文部科学省の遠距離通学の規定は、小学校4km、中学校6km以上についてはスクールバスで対応することとしています。現在、中学校は2km未満が徒歩、2km以上は自転車、交通機関があればバス・列車を選択することができます。乙姫につきましては、列車で通学している生徒もいますが、中学生は6km以上という線引きがありますので、是非ご理解をお願いします。



市役所の喫煙場所